



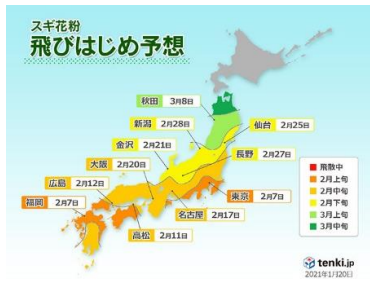
## アレルギー専門の当院での花粉症診療のご案内

2021年1月中旬ごろから、目のかゆみ、鼻水、くしゃみなどスギ花粉の症状がでている方がいらっしゃいます。今年、スギ花粉が本格的に飛散開始する時期は、関東では、2月7日前後と、例年の2月14日よりはやや早めに始まり、スギのピークは3月、ヒノキは4月、そして、スギ花粉の飛散量は、例年の7割前後、ただし、昨年の飛散量が極端に少なかったため、昨年と比べると、1.8倍という予想です。昨年春に、花粉の症状がそれ程ではないと思われた方、それは、花粉の飛散量が少なかった影響かもしれません。また、最近では、早いと、2歳の子どもでも、目のかゆみなど花粉症状がでる事があります。

花粉の症状かな？と心当たりある方、当院にて花粉症診療を行っておりますので、ご利用くださいませ。

※ オンライン診療も行ってあります。詳細はホームページのオンライン診療のご案内をご参照下さい。

※ より専門的な内容や診療に関しては、アレルギー専門の医師の外来(専門外来)をご利用ください。



地方	飛散量(地方平均値%)	
	例年比	前シーズン比
北海道	例年並 (100%)	少ない (60%)
東北	少ない (60%)	前シーズン並 (90%)
関東甲信	少ない (60%)	多い (180%)
北陸	やや少ない (70%)	非常に多い (270%)



### 【 花粉症 の Q&A 】

Q：花粉症の薬は、いつ頃から使用開始したらよいでしょうか？

A：遅くても、**症状が悪化する前から開始**しましょう

症状がひどくなってからの内服でも、ある程度の効果はありますが、鼻水やくしゃみ、鼻づまり、目のかゆみがひどくなる前に、**早めに、我慢せずに、花粉症薬を使用**しましょう。個人差もありますが、本格的な飛散の開始日の数日前からの内服開始が推奨されております。

Q：花粉症は、何科を受診するのがよいでしょうか？

A：**ずばり、アレルギー専門科**です

花粉症は、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状がでます。症状によって、耳鼻科に行き、眼科に行き、皮膚科に行く方もいらっしゃいますが、当院は、**アレルギー専門の医師**が、鼻の症状、目の症状、皮膚の症状など花粉症のほぼ全ての症状に対応し、適切な内服薬、点眼薬、点鼻薬、外用剤などを処方しますので、**複数の医院を受診する手間とコストが省けます**。当院では、市販薬と同等の薬や市販されていない薬を含め、**あらゆる花粉症の治療薬を処方**できます。

※ 当院は日本アレルギー学会に沿った診療が主です。民間療法などは行っておりません。



Q：大人ですが、花粉症を診てもらえますか？

A：**はい、診療しております**

アレルギー専門の診療所として、**子どものみならず、大人の方**で花粉症や喘息、アトピーの方の診察、検査、治療も行ってあります。**ご家族で受診**することもできます。**アレルギー検査や呼吸機能検査**等も行うことができますので、ご遠慮なく、受付または医師へご相談くださいませ。

Q：舌下免疫療法をしたいのですが、できますか？

A：**はい、できます**

当院にて、**子どもから大人の方まで**、多くの方が治療しております。**スギ花粉の舌下免疫療法の開始時期**は、スギ花粉飛散期を避けるため、スギ花粉の飛散が終了する**5月中旬以降から開始**ができます。舌下免疫療法(スギとダニ)は、**5歳以上で保険適応**があり、**大人の方も、保険適応**にて治療できます。舌下免疫療法は、100%効果があるという夢の治療法ではありませんが、7~8割の方で効果があり、スギ花粉症やダニアレルギーの**根本的な治療(=体質改善)**が期待できますので、**アレルギー症状でお悩みの方には、お勧めの治療法**です。ご遠慮なく、**アレルギー専門の医師へご相談**ください。適切なアドバイスと治療法のご説明を致します。

